課題実習① ガイダンス

１　課題実習①の実施期間

令和８年７月４日（土）～８月３日（月）の間

２　課題実習の内容

（１）インターバル報告書①(書式６)の作成

・受講者各自の実践事例に対し地域の中で助言を受け、チームで検討する機会を設定し、受講者の今後の継続した自己研鑽の機会を確保する観点から基幹相談支援センター、主任相談支援専門員等から助言を受けることが望ましいとされています。このことから、地域で連携している基幹型支援センター、主任相談支援専門員、圏域アドバイザー等からの助言を受けることを推奨します。

・実習先の選定及び日程調整については、上記１の期間内で取り組みを完了できるよう受講者各自で行ってください。

・実習での取り組みについて、インターバル報告書①(書式６)に記入、作成します。この報告書は、研修３日目（８月４日（火））のグループ内での意見交換の際に活用します。

・相談に適した事業所がない場合は、事業所所在地の市町村障害保健福祉主管課に相談し、基幹相談支援センター、主任相談支援専門員、圏域アドバイザーの情報を入手したうえで実習先を選定してください。市町村あてには、受講者から相談があった場合の対応について依頼しています。

（２）事前課題の見直し

・すでに作成した事前課題について見直しをした結果、内容に変更があった場合は、見直し等を行った箇所が分かるよう朱書きで追記・訂正をします。

【見直しをする書式】

ⅰ）実践報告書（書式１-②）［エコマップ］［関係性］

ⅱ）地域変革のためのヒアリングシート（書式２）

ⅲ）ストレングス・アセスメント票（書式３）

３　課題の提出

（１）　提出日　令和８年８月４日（火）

（２）**提出物**（５人グループの方は下記より１部少なくなります）

①インターバル報告書①(書式６)…各 12 部持参

②実践報告書（書式 1-② ［エコマップ］）…各 12 部持参

受付用（６部）、ファシリテーター用（１部）、グループメンバー用（５部）

※提出部数の他にご自身の手持ち用（１部）もご持参ください。

※その他提出しない事前課題についても全日程において持参してください。

※提出されない場合には、以後の研修を受講できませんのでご注意ください。

※書式は、富山県のホームページよりダウンロードできます。（https://www.pref.toyama.jp/1209/kurashi/kenkou/shougaisha/jigyousha/r5gennninkennsyu.html）